



青少年育成市民会議

いわき市青少年育成市民会議において、地区ごとに行っている青少年の健全育成に関する活動の一部を紹介します。



～生かそう、きずな。未来のために！～

事務局 久之浜公民館（八二）一一六五



事務局 中央公民館（一一）五四三一



事務局 小名浜公民館（五四）一八九〇



本協議会では、八月一日（木）、久之浜第一小学校体育館において「夏休み子ども教室」を開催しました。夏休み期間中の事故・非行防止を図るとともに、保育所、こども園、久之浜第一小学校、久之浜第二小学校の世代・学区を超えた交流で友好を深めることを目的に、約八十人の子どもたちが参加しました。久之浜駐在所の前田竜男巡査長から「知らない人から声をかけられたら」の講話を聞き、その後、友達と協力しながらのゲームやスイカ割りを行いました。友達からの声援に大満足の充実した一日を過ごしました。

夏休み子ども教室

久之浜・大久地区推進協議会

中央台支部では、十月五日（土）、地区内の小学四年生から六年生三十一人が栃木県の「真岡線SLの旅」に参加しました。真岡市にある「キュークロク館」では、大正時代の蒸気機関車九六〇〇形SL等を見学した後、真岡駅から七井駅までSLに乗車しました。参加した子どもの多くがSLを見るのも、乗車するのも初めての体験であり、SLの勇壮な姿や大きさに驚いたり、煙突からもうもうと出る石炭の煙と匂い、更に出発時の汽笛の大きさに耳をふさぐ子どもの姿がありました。日頃見ることの出来ないSLに出会い、乗車体験し大きな感動を得ることの出来たSLの旅でした。

出会い・体験・感動の 真岡線SLの旅

平地区推進協議会

玉川支部は、自治会の委員会組織の一部として「子どもの元気な声の聞こえる街」を目指し活動しています。毎年地域の盆踊り大会のため子どもお囃子隊を結成し、六回の猛練習により本番に披露し、地域の人たちの喝采を受け盆踊りを大いに盛り上げています。近年、当地区も少子高齢化が進行し、地域と子どもたちとのふれあいが少ない中、「地域が子どもたちを見守り育てる」意識の向上をめざし今後も各種事業を実施していきます。

「子どもの元気な声の 聞こえる街」を目指して

小名浜地区推進協議会

事務局 植田公民館 (六三三四六七)

事務局 常磐公民館 (四二一三〇五)

事務局 内郷公民館 (二六一九七四)

事務局 四倉公民館 (二二一九二〇)



山田支部では、二学期と三学期の始業式の朝に、菊田小学校の正門と、バス通学児童が通る裏門に立つて「あいさつ運動」を行っています。長期休業後に、子どもたちが元気に新学期のスタートが切れるように願い、平成二十五年度から行っています。最初は、大人たちが並んでいるのを見て、けげんそうな顔で無言で通り過ぎる子、あいさつの声の小さい子が目立ちました。今年度で七年目、子どもたちの表情も自然で、笑顔で明るいあいさつも多くなりました。子どもたちと顔見知りになり、地域でもあいさつを交わすことができと願い実施しています。

平日五日間、昨年に引き続き新入学児童を対象に給食支援活動を実施し、今年度は常磐・遠野地区全域の小学校へ規模を拡大しました。内容は前年同様『安全の確保、衛生の保持、担任の先生の給食指導の方針のもとの後方支援』というものです。成果として、担任の先生より、「從来の給食指導がより良いものとなつた」とありました。

宮支部では、子どもたちに伝統行事を体験してもらおうと、親子盆踊大会を開催しています。今年度は七月二十日(土)に開催しました。大会は宮地区の団体による太鼓やじゃんがらなどで始まり、子どもたちは櫓を囲みおはやしにあわせて盆踊りを踊りました。今年度は多くの子どもたちに参加してもらおうと練習会を行いました。会場には多くのお店が並び、踊りコンテストなども行われ、夏の夜を楽しく過ごしました。

今後も、子どもたちが地域の皆さんとふれあい、地域に誇りを持てるよう、この大会を続けていきたいと思います。多彩な体験機会の提供と異年齢の交流を目的に、七月二十五日(木)「夏休み子どもまつり」が開催されました。午前は、「クラフト教室」で、自分だけのキーホルダーを作りました。昼食は、地域の皆さま手作りのそうめんや副菜などをいただきました。午後は、金魚すべい・ヨーヨー釣りや七夕飾りづくりなどの「ミニ縁日」や、「夏休み子ども映画会」が開催されました。オリジナルの作品作りや金魚すべいなど、日頃体験できないことに、目を輝かせながら楽しそうに取り組む子どもたちの姿が見られました。

あいさつ運動

勿来地区推進協議会

平成三十一年度新人児童給食支援

常磐・遠野地区全域に拡大

常磐地区推進協議会

親子盆踊大会

内郷地区推進協議会

夏休み子どもまつり

異年齢交流事業

四倉地区推進協議会

事務局 上遠野公民館（八九）二〇五九



本協議会では、七月二十八日(日)、子どもたちに地域の歴史への理解を深めてもらう目的で、中世の史跡「八潮見城跡」の散策を開催しました。当日は、小学生及び保護者計三十六人が参加し、散策路の保全活動を行う「八潮見城探検隊」の皆さんから、城跡の歴史にまつわるお話を聴きながら散策しました。散策路は急峻(きゆうじゅん)な山道が続く上に、早朝に歩降った雨の影響で路面がぬかるみ、多くの大変苦労しました。

事務局 小川公民館（八三）一一六八



本協議会では、夏休みに「子ども手こねパン教室」を開催しています。今年は、七月二十五日(木)に小川地区の小学三年生から六年生、十四人が参加して、「ツナコーン」を作りました。この教室は、毎年開催していますが、小学校に募集チラシを配布するとすぐに集まる人気の教室です。当日は、小川で「こねパンサークル」に協力していただき、おいしいパンができました。

事務局 好間公民館（三六）二〇五〇



今年度の小川地区は、秋に予定した事業が、台風第十九号の被災により実施することができませんでした。非常に不本意な年となりましたが、来年度は、「地域の子どもは地域で守り育てる」との考えのもと各種事業を実施していきたいと思います。

事務局 三和公民館（八六）二二〇四



廃校となつた旧永戸小学校を活用し、ドローンなどの次世代技術の研究開発、実証実験の事業拠点である「ながとイノベーションセンター」を好間町商工会では、まちおこしを目的に、ジャンボメニューを活用し、事業を展開していますが、この日は八店舗からメンチやシュークリム、焼き肉丼、イカ天うどんなど、自慢のジャンボメニューを提供していました。ただきました。今年度の小川地区は、秋に予定した事業が、台風第十九号の被災により実施することができませんでした。非常に不本意な年となりましたが、来年度は、「地域の子どもは地域で守り育てる」との考えのもと各種事業を実施していきたいと思います。

「八潮見城跡」の散策

遠野地区推進協議会

夏休み子ども手こねパン教室を開催

小川地区推進協議会

ジャンボメニューを味わう体験会

好間地区推進協議会

ながとイノベーションセンタ体験学習

三和地区推進協議会

